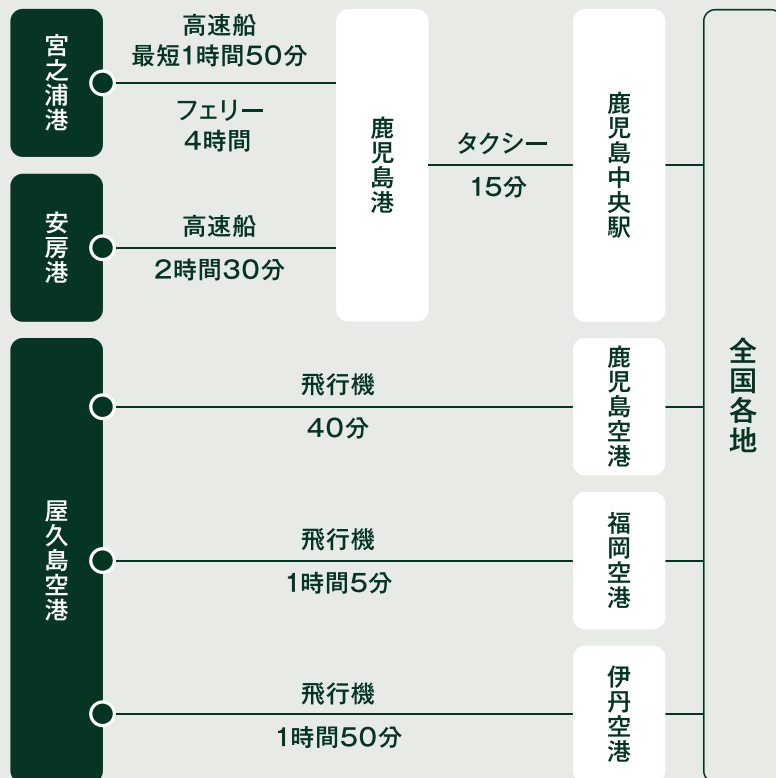


ACCESS

屋久島へのアクセス

屋久島は鹿児島市から直線距離で約130km離れた海上の島です。

屋久島には飛行機と高速船・フェリーでアクセスできます。



屋久島町
Yakushima Town

屋久島町 観光まちづくり課 地域振興係
〒891-4207 熊毛郡屋久島町小瀬田849番地20
TEL 0997-43-5900 / FAX 0997-43-5905
メール ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp



屋久島町だいきき基金活用事業 令和7年3月改訂

A Fulfilling life



屋久島町 移住定住
GUIDE BOOK



生命が満たされる日々



世界遺産の島 屋久島で暮らす

日本で初めて世界自然遺産となった屋久島。

優れた自然を残しながらも、

そこに多くの人々が暮らしていることが評価されました。

屋久島の魅力は圧倒的な大自然だけではなく、

その自然と共に生きる人々の生活や

文化・伝統の中にも溢れています。

本誌は、屋久島町への移住を検討されている皆様に、

屋久島を知っていただき、島の暮らしや集落の様子を感じ、

安心して移住していただくためのガイドブックです。

- 01 屋久島って、どんな島？
P.03-P.06
- 02 先輩移住者インタビュー
P.07-P.14
- 03 移住までのステップとサポート
P.17-P.18
- 04 島の集落
P.19-P.22
- 05 住まいと仕事
P.23-P.24
- 06 子育てと教育
P.25-P.26
- 07 医療とライフライン
P.27-P.28
- 08 移住の注意点と、心得
P.29-P.30
- 09 お試し移住
P.31-P.32
- 10 屋久島憲章
P.33-34
- 11 屋久島へのアクセス
P.35

屋久島って、どんな島??

屋久島の位置と気候



本土最南端の鹿児島県佐多岬から南方へ約60kmの海上に位置し、種子島や口永良部島などと共に大隅諸島を、南方に位置するトカラ列島や奄美群島などと共に南西諸島を構成しています。屋久島は南の島に属しますが、標高1,936mの宮之浦岳を筆頭に高く険しい山々があり、神秘の森や山々は、東北地方や北海道と同じ平均気温で、島内では日本の亜熱帯から冷温帯の植生分布を見ることができます。

水が豊かに循環する島



屋久島は日本を代表する暖流「黒潮」がぶつかる島です。黒潮が運ぶ暖かく湿った空気が、1,000m~2,000m級の山々を駆け上がり、雨雲となって大量の雨を島に落とします。「ひと月に35日雨が降る」と言われる屋久島の大量の雨は、無数の沢を作り、森を潤し、川となり里に注がれ、海に流れ出ていき、また循環していきます。神秘の森も、多様な生態系も、里の営みも、この島の全てが「水の循環」によって存在しています。

世界遺産の類稀な自然



屋久島の面積の約90%は険しい山々と森で占められており、この地形に水の循環による豊かな水資源が重なることで、他に類を見ない自然環境を形成しています。わずか直径約30キロの島のなかに、樹齢1,000年を超える杉「ヤクスギ」や、世界で屋久島だけに存在する約50種の固有植物、名水100選の清流、日本一の魚種を誇る黒潮がもたらす豊かな海、世界有数のウミガメの産卵地という多様な自然、生態系を有した「地球の縮図」のような島です。





自然だけじゃなく 人も豊かな島

屋久島の自然は多くの人を魅了していますが、
人々の生活もまた同じ。
住んでいる人の素晴らしい笑顔があり、
「豊かな暮らし」があります。

集落の暮らし

屋久島町には古くから「集落」という暮らしの単位があり、現在は26の集落があります。それぞれ集落独自の文化が残っており、行事なども集落単位で行われています。※集落の詳細は19ページに記載しています。



現代 社会の豊かさ

屋久島での生活は都会ほど便利ではありませんが、スーパーやドラッグストアなどのお店が点在し、生活必需品を手に入れ、ランやカフェなども多く、電気・ガス・水道はもちろん、高速インターネットによって情報化社会にも対応可能です。

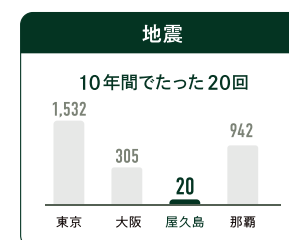
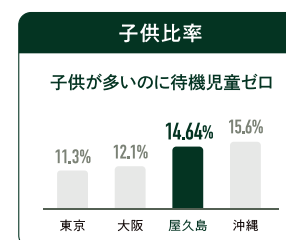
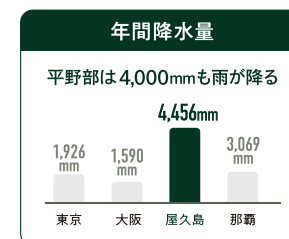
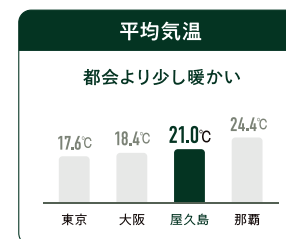
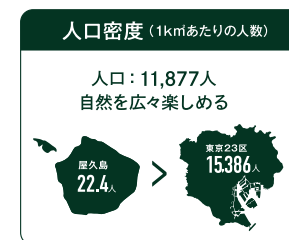
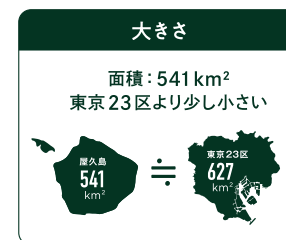


今も残る文化と伝統

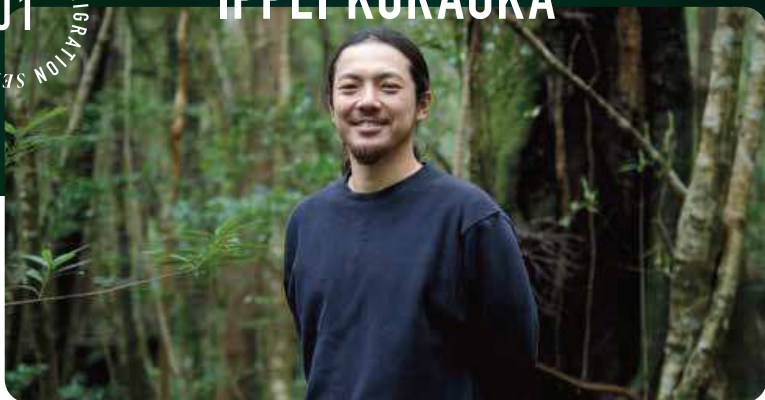
それぞれの集落には山々の神を信仰する「岳参り」という文化が存在します。また、トビウオ漁の豊漁を願うトビウオ招きなど、自然と共に生きてきた屋久島の人々の文化が各集落に存在します。



数字で見る屋久島 都会と屋久島を比べてみよう!!!



IPPEI KURAOKA



お名前 倉岡一平	職 業 山岳ガイド	前 職 整骨院
移住歴 2年(2023年4月～)	居住地 福岡 → 原	家 族 妻と子ども2人

整骨院を経営していました。朝から夜まで働きづめで、夫婦と一緒にめいっぱい頑張っていました。

一人旅でふと屋久島を訪れたとき、「この場所で生きてみたい」と直感的に思ったんです。特に明確な理由があったわけではありません。それで、妻に連絡して「屋久島に住もう!」と言ったら、「いいね。面白そう!」と返事をくれました。それがきっかけで移住を決意しました。特に山に登ったわけでもなく、何か特別なことをしたわけでもないのですが、屋久島の不思議な魅力に惹かれました。

お試し移住はしませんでした。屋久島に行くと決めてから仕事を探し、
たまたま求人が出ていた山岳ガイドの会社とご縁があり、見習いとして
スタートしました。仕事が決まった後、暮らし体験住宅に入居すること
ができました。これは屋久島への移住希望者に向けて、月1万円（
3ヶ月～1年間）で借りることのできる住宅です。そのうちの1つ（小
瀬田）に入ることができたんですよ。そこで屋久島生活を始めました。



基本的に縄文杉をはじめとする山岳ガイドをしています。屋久島公認ガイドも目指して頑張っています。山に入らない日は、屋久島のアクティビティのツアーを企画したり、登山用品のレンタル業務を行ったりしています。レンタル品のメンテナンスなど、ツアーに関わるさまざまな仕事を担当しています。

繁忙期には、月の3分の2の時間は山に入っています。普通に考えたら、月に20日近く山に入るなんて考えられませんが、それでも山に飽きることはなく、屋久島の大自然に癒されている感覚があります。



正直なところ、本当に困ったことは特にありません。もちろん島なので不便なことはありますが、それすらも楽しめています。不便さがあまりにも苦しいと感じる人は大変ですが、そこまでではないですね。リアルな話をすると、ガソリン代が高いなどの問題はありますが、それくらいです。

すべてが楽しいですが、やはり大自然での遊びですね。山も、海も、川もすべてが圧倒的で自然のクオリティが高いんです。それが日常と隣り合わせにあるというのがとにかく素晴らしいんです。もともと自然が好きでしたが、屋久島ではその自然に溶け込んでいる実感があります。晴れた日の夜は玄関を開けると天の川が見えたり、出勤途中に虹が出たり、すぐ近くに大きな山があり、逆側を見れば広大な海が広がる。特別なアクティビティをしなくても、日常生活だけで充実感を得られます。

家族全員に言うことですが、虫に対する抵抗感がなくなりました(笑)。また、子どもたちがのびのびと楽しそうに過ごしています。移住前は、小さなことでイライラしたり、怒ることも多かったのですが、移住してからは「それくらいは気にしない!」と思うようになりました。妻とともに、子育てのタスクが大きく変わったと思います。

屋久島というフィールドには終わりがありません。簡単に言えば、遊び尽くせないんです。いろいろな分野で楽しめるゴールのない島だと思います。自然を知ろうとすることもです、人間関係も面白い人が多い。だからこそ、飽きることがありません。毎日のようにワクワクしながら暮らせる場所、それが屋久島です。日本全国に自然豊かな島や土地はたくさんありますが、屋久島は別格だと思います。ぜひ訪れてみてください。そして、住んでみると本当の魅力がわかるはずですよ。

視覚：スケールの大きな自然（海、夕日、川、山、木、岩などすべて）／ 聴覚：川や虫の音（自然の音がクリアに聞こえるようになりました）／ 触覚：山の空気（澄んだ空気を肌で感じます）／ 嗅覚：山の香り（季節ごとに香りが変わります）／ 味覚：薄めの味付け（福岡と比べて、食べ物の味がそれほど濃くありません）

屋久島の好きなところ

五感で表現

視覚

自然
すべて

聽覺

川や
虫の音

觸覚

山の
空気

1

山の
香り

味覚

薄めの
味付け

02

TSUBASA TERADA



お名前 寺田 翼	職業 漁業	前職 築地の競り人
移住歴 5年(2020年～)	居住地 東京→一湊	家族 妻と子供1人

移住前のライフスタイルは？

東京の築地で競り人をしていました。夜中の0時に起きて、1時には職場に向かい、朝の7時頃まで魚を売る仕事をしていました。7時からは事務所に上がり、事務処理や翌日の魚の集荷・売り込みを行い、昼頃に帰宅するという生活でした。休みはほとんどなく、正月も仕事をしていました。

移住しようと思ったきっかけは？

もともと屋久島で暮らしてみたいという思いがあったことに加えて、コロナの影響もありました。競り人をしていて漁師さんとの関わりが深く、築地に荷を運んでもらうことで商売が成り立っていました。上司からは常に漁師さんや生産者の立場で考えるよう教わり、生産者へのリスペクトを持ち続けていました。そのため、いつかは生産者側の仕事をしたいと考えていたんです。それに、もともと魚釣りが好きだったことも大きな理由ですね。

移住前、どのような検討をしましたか？お試し移住はしましたか？

特に準備はせず、最初から屋久島一択で移住を考えていました。

なぜ、屋久島を選んだのですか？

父の田舎が屋久島だったこともあり、親しみがあつたのかもありません。ただ、僕自身は屋久島に住んだことはなく、お盆のお墓参りで訪れる程度でした。

屋久島でどんな仕事をしていますか？

最初は観光業にも興味があつたので、お土産屋で働いていました。その後、3～4月に行われる「もじゃこ漁」(カンパチなどの稚魚を採る漁)の乗子(船の乗組員)として船に乗ったことがきっかけで、漁に誘われるようになりました。漁を経験するうちに「漁師になれる」と確信しました。漁師になろうと決めたとき、屋久島町や漁協からの補助制度があつたことも大きな後押しになりました。こうした支援があることで、迷うことなく漁師の道を選ぶことができました。

移住した時に困ったことは？

特に大きな困りごとはなかったのですが、娘が生まれてから病院のことが気になりました。初めての子どもなので、ちょっと熱を出すだけでも心配になりますよね。妻の実家が鹿児島にあったので、鹿児島の病院に行くこともありました。

屋久島の生活で楽しいことやよかったことは？

やっぱり魚釣りですね(笑)。仕事で漁をしていますが、それとは別にプライベートでも釣りを楽しんでいます。屋久島は海が近く、東京にいた頃のように千葉まで乗り合い船で行く必要がありません。毎週のように釣りに行っていた自分にとって、屋久島の環境は最高ですね。海がシケた日は暇ではありますが(笑)。

先輩としてメッセージを！

僕が住んでいる一湊集落は、行事が多く交流が深まる地域です。イベントなどで人が集まる機会が多いので、人とのつながりを大切にしたい人にはおすすめの場所ですね。また、小学校には「黒潮留学制度」があり、移住してきた家族もたくさんいます。人数は少ないですが、子どもたちの環境もとても良いですよ。

移住する前と、生活で変わったところはありますか？

移住前は常に携帯電話が手放せない生活でした。競り人の仕事では、産地やお客さんから頻繁に電話がかかってきて、胸ポケットには常に携帯が入っていました。さらに、天気図を見ながら魚の仕入れ先を調整し、水揚げ情報をチェックするなど、常に情報を追いつける日々。ほぼ365日休みなく電話に追われる生活でした。しかし、屋久島で漁師を始めてからは、そんな生活が一変しました。携帯電話に縛られることなく、生産者として海の現場で働けるようになったんです。

屋久島の好きなところを五感で表現してください

視覚：海(特に僕が住んでいる一湊は海の景色が広がります！)／
聴覚：風の音(風向きによって釣れる魚が変わります。)／
触覚：ワイヤー(大きな魚を釣るときに使う糸の感触。)／
嗅覚：山の甘い香り(新芽が出る頃、港に戻ると山の香りが漂ってきます。)／
味覚：首折れサバ(抜群の鮮度！食べる2時間前に首を折ります。)

屋久島の好きなところ
五感で表現

視覚 海

聴覚 風の音

触覚 ワイヤー

嗅覚 山の甘い香り

味覚 首折れサバ

YASUMI KODAMA



お名前 児玉 保光	職業 タイ料理店 こそだて支援団体代表	前職 こそだて支援団体代表 キッチンカー営業
移住歴 1年(2024年～)	居住地 埼玉→栗生	家族 夫と子供2人

移住前のライフスタイルは？

埼玉で子育て支援の活動とキッチンカーの営業をしていました。妊娠期から産後1年までの“お母さん”とそのご家族を対象に1食500円の弁当宅配を行っていました。弁当や助産師さんによる訪問を介して、お母さんたちと「つながって、つなげる」ことで、“孤育て”にならないような仕組みを作っていました。

移住しようと思ったきっかけは？

上の子が小学一年生に上がるタイミングで、こどもがのびのびと生活できる環境に身を置きたいと考えようになりました。教育環境を優先するか、自然環境を優先するか考えていた中で、実の父親の生まれ故郷である屋久島を思い出し、相談してみると「親戚の空き家がある」と言われ、それが移住の大きなきっかけになりました。

屋久島でどんな仕事をしていますか？

移住前に行っていたキッチンカー営業と共に、自宅を改装して実店舗を持ち、タイ料理店をはじめました。また、移住当初は埼玉で行っていたような産前産後弁当宅配について、すでにコミュニティがある屋久島では必要ないのでは？と思っていたのですが、屋久島での“孤育て”の深刻な状況を聞くうちに、その必要性を感じ、屋久島でも産前産後弁当宅配を、そして新たに地域食堂もはじめることにしました。こそだて支援活動とタイ料理店はそれぞれ独立させながらも、「食」を通じたつながりを大切に運営しています。また、夫は埼玉でお茶の仕事をしていたのですが、屋久島もお茶の産地だったんです。屋久島に来た際、同行していただいた助産師さんの紹介で、お茶農園の仕事に就くことができました。就職試験などではなく、人と人とのつながりで生活する島なんだと実感しました。屋久島に来てから生まれたご縁が仕事にもつながっています。

なぜ、屋久島を選んだのですか？

父の故郷ではありましたが、私は東京で生まれ育ち、屋久島には大学時代に観光で訪れたことがある程度でした。その時も、父の実家には寄らずに縄文杉を見て帰るだけだったので、特別な思い入れがあったわけではありません（笑）。



移住した時に困ったことは？

実際に住み始めて、地域の奉仕活動について「去年と同じ場所に集合してください」と案内がありました。しかし、去年の場所が一体どこなのか全く分からなくて。（笑）住む人々の入れ替わりが激しいことを前提として話が進む都会とは違い、最初は戸惑いましたが、これをきっかけに地域の人と交流が増え、結果的に島での生活を楽しむ要因の一つになりました。

屋久島の生活で楽しいことやよかったことは？

生活のすぐ近くに豊かという言葉では言い表せないくらい豊かな自然があることですね。山が目の前にあり、少し歩けばエメラルドグリーンの川や海が広がっています。今朝も、子どもを学校に送ったあと、海に立ち寄って癒されました。移住前、ガイドをしている従兄弟に連れて行ってもらったウミガメの産卵する浜も歩いて行ける距離にあります。

屋久島の好きなところを五感で表現してください

視覚：自然（玄関を開けたら見える海、川、山。）／聴覚：鳥の声や波の音（都会の喧騒の音ではない、自然の音が良いです。）／触覚：潤い（お肌がしっとりします）／嗅覚：無臭（良い意味で無臭。空気がきれいな感じです。）／味覚：柑橘（たんかんをはじめ、いろんな柑橘類を食べるようになりました。）

移住する前と、生活で変わったところはありますか？

海や川で遊ぶことが圧倒的に増えました。美しすぎる自然がすぐそばにあるので、自然とライフスタイルも変わります。都会でも鳥の声や風の音を聞くことはできませんが、屋久島ではそれが日常の一部としてスーッと心に入ってきます。都会の生活では味わえなかった感覚ですね。

先輩としてメッセージを！

一人で静かに暮らしたいと考えるには、あまりにも物足りない島です！人と人とのつながり、その距離の近さを存分に楽しみ、助け合いながら暮らす島の生活は、温かく、豊かなものだと思います。

屋久島の好きなところ

五感で表現

視覚

自然

聴覚

鳥の声や波の音

触覚

潤い

嗅覚

無臭

味覚

柑橘

KAYO SHIIHARA



お名前 椎原 圭代	職業 会社員 農園チーフ（農業）	前職 ボランティア コーディネーター
移住歴 2年（2023年～）	居住地 熊本→安房	家族 独身

移住前のライフスタイルは？

柑橘栽培を学ぶため、熊本のみかん農業法人でアルバイトをしながら、農業技術や知識を身につけていました。その前は、老健施設でボランティアコーディネーターとして働いていました。

移住しようと思ったきっかけは？

2018年の夏、観光で初めて屋久島を訪れました。縄文杉に会いたくて友人と二人で来たのですが、大自然の美しさに感動すると同時に、柑橘類の「たんかん」の存在を知りました。もともと柑橘類が大好きだったのですが、観光で行った時はたんかんの青果がなかったんです。それで飲食店に行った時、たんかんを使ったソースが使われている料理を食べたんです。それがとても美味しくて感動し、「生のたんかんを食べてみたい！」と思い、季節になってお取り寄せをして食べたんです。そしたら青果がさらに美味しくて感動しました。

屋久島でどんな仕事をしていますか？

自社農園を持つお菓子製造会社で働いており、農園で果物の栽培管理を担当しています。主にたんかんやレモンの管理をしています。パイナップルやグアバなど、さまざまな南国フルーツも育てています。

移住前、どのような検討をしましたか？ お試し移住はしましたか？

たんかんの収穫時期に合わせて1ヶ月ほど滞在するお試し移住を、3年間繰り返しました。農園の近くにワーケーションプランのある宿があり、そこで生活をしながら収穫作業を経験しました。仕事もそうですが、知り合いや繋がる人が増えたのもよかったです。

移住した時に困ったことは？

移住前から聞いてはいましたが、船の欠航が多いため物資が届かないことがよくあります。特に豆腐や野菜がすぐに品切れになるのには驚きました。でも、今では慣れました。意外ととなかなかなものですね。また、住まいに関して、農園の近くには住宅が少ないため、私は社宅を用意してもらえたのでスムーズに住まいが見つかりました。でも、アパートやマンションがたくさんあるわけではないので、自分が住みたい集落で家を探すのはそれなりに大変だと思います。



屋久島の生活で楽しいことやよかったことは？

すぐ近くに綺麗な海や川、山があり、とても癒やされます。畑にいるのも好きですが、自然の近くで生活するのが最高ですね。また、島内の飲食店はおしゃれでこだわりのあるお店が多く、友達と巡るのがとても楽しいです。

移住する前と、生活で変わったところはありますか？

移住する前は料理が苦手だったのですが、自分でたんかんやレモンを作るようになり、「どうしたら美味しいお菓子ができるだろう？」と考えるようになりました。実験感覚でキッチンに立つことが増えたのは、以前にはなかった変化ですね。

先輩としてメッセージを！

移住前は「ハードルが高い」と思っていたのですが、実際に来てみると何とかなるものです。まずは来てみるのが大切！島に住めば、人のつながりができ、仕事もプライベートも何とかなります。私の場合は年齢的にもギリギリだったかもしれませんが、「動くなら今しかない」と思って決断しました。考えすぎると踏み出せなくなるので、考える前に行動するのが大事だと思います。

屋久島の好きなところを五感で表現してください

視覚：山（モッチョム岳など、農園からもよく見えます）／聴覚：鳥や猿の声（畑にいることが多いので、人の声より動物の声をよく聞きます）／触覚：湿度（もともと乾燥肌でしたが、改善されました）／嗅覚：新芽の香り（たんかんやレモンの新芽の香りはおすすめです）／味覚：トビウオの刺し身（もともと魚をあまり食べなかったのですが、旬の魚の美味しさに驚きました）

屋久島の好きなところ

五感で表現

視覚 山

聴覚 鳥や猿
の声

触覚 湿度

嗅覚 新芽の
香り

味覚 トビウオ
の刺し身



美しい川と山並みに囲まれた栗生の集落

移住までの5ステップ

人生の大きな決断である「移住」。

屋久島町の生活は魅力的ですが「想像と違った」ということもあるかもしれません。

移住後の暮らしを具体的にイメージしながら、計画を進めていきましょう。

STEP 01

STEP 02

STEP 03

STEP 04

STEP 05



まずは屋久島町観光まちづくり課へ相談

屋久島町観光まちづくり課では、電話やメールのほか、現地でも移住の相談を受け付けています。短期間滞在できる暮らし体験住宅や、移住支援制度、空き家バンクなど、具体的な移住後の相談が可能です。移住までのイメージを膨らませましょう。

STEP 01

STEP 02

STEP 03

STEP 04

STEP 05



地域の人と交流をしよう

移住にあたっては、生活環境のほかにも、地域の人の関わりが欠かせません。人口の少ない屋久島では集落ごとの行事など、地域との繋がりの中に暮らしがあります。移住の前に生の情報を得るのも大切なポイント。

STEP 01

STEP 02

STEP 03

STEP 04

STEP 05



お試し移住をしてみよう ※お試し移住の詳細は31ページに記載しています

屋久島町では、移住・定住希望者へ向けた住宅として、屋久島町が用意した暮らし体験住宅や民間の宿泊施設が用意した長期滞在プランやシェアハウスで、本格移住の前に気軽に屋久島暮らしを体験することができます。

STEP 01

STEP 02

STEP 03

STEP 04

STEP 05



住まいと仕事を探そう

移住を決めたら、いよいよ住まいと仕事探しです。住まいは屋久島町の空き家バンクや不動産会社の活用がおすすめ。仕事情報は、ハローワークくまげが発行する「求人情報くまげ屋久島版」や、鹿児島県の就職情報提携サイト「かご」o b」に掲載されています。

STEP 01

STEP 02

STEP 03

STEP 04

STEP 05



補助金制度を活用しよう

移住を決めたら、利用できる補助金の確認をしましょう。「移住者住宅取得費用の支援」や「賃貸住宅の家賃の支援」「空き家改修費用の支援」など、住宅や移住にかかる経費を補助する制度がありますので、是非ご活用ください。

屋久島町の移住サポート

サポート制度一覧

屋久島町では移住を考えている方を対象に様々な支援を行っています。移住後の暮らしにおいて大きなポイントである就労や住宅についての制度を是非ご活用ください。

仕事に関する支援

就農・就漁支援制度

新たに農業・漁業経営を営もうとする方に対して様々な支援制度があります。
問い合わせ先：就農・就漁支援に関して：屋久島町産業振興課／技術支援担当、農地取得等に関して：屋久島町農業委員会

雇用機会拡充事業

補助率 3/4

最大450万円

地域の雇用増を伴う創業又は事業拡大を伴う民間事業者に対して、その事業資金の一部を補助します。対象：屋久島、口永良部島内に居住して創業する者・屋久島、口永良部島内の事業所において事業拡大する者・主として屋久島、口永良部島地域の商品、サービス等の販売を目的として、屋久島、口永良部島以外の地域において創業する者
問い合わせ先：屋久島町 産業振興課 産業振興係

かごしま地域課題解決型起業支援事業

補助率 1/2

最大200万円

地域の課題解決を目的として新たに起業する方を対象に、起業に必要な経費の一部を「起業支援金」として交付します。：※対象となる事業には様々な要件がありますので詳細にはお問い合わせください。
問い合わせ先：鹿児島県商工労働水産部 産業人材確保移住促進課

移住に関する支援

空き家バンク

町内にある空き家情報を掲載しています。詳細な情報をご覧になるには空き家バンク利用登録が必要です。
<https://yakushima-t46505.akiya-athome.jp/>



暮らし体験住宅

移住希望者を対象に、島での暮らしを体験していただくための移住体験住宅を4棟整備しています。屋久島での暮らしを体験したい方、暮らし体験住宅に住みながら仕事や家を見つけた方など、是非ご利用ください。
家賃：月額1万円 / 入居可能期間：3ヵ月～最長1年 / 募集期間：随時（体験住宅に空きがあり次第）

口永良部島定住促進住宅

口永良部島への定住を促進し島の活性化を図る目的で、定住促進住宅を3棟6戸整備しています。住宅は単身者や子育て世代など様々な家族構成に対応できるよう取り揃えています。
家賃：月額1万円 / 入居可能期間：最長7年 / 募集期間：随時（定住促進住宅に空きがあり次第）

賃貸住宅初期費用補助

補助率1/2

最大5万円

民間の賃貸住宅を借りる際に要した初期費用（礼金、仲介手数料、家賃支払保証料）の一部を補助します。

賃貸住宅家賃補助

補助率1/2

上限：月1万円

期間：最長2年

民間の賃貸住宅を借りる際の家賃（管理費、共益費及び駐車場使用料等を除く）の一部を補助します。

住宅取得補助金 新築住宅／中古住宅

町内に新築／中古住宅を取得（土地の取得を含む）する方に対して、その費用の一部を補助します。

新築 補助率1/10 / 最大250万円

中古 補助率1/10 / 最大100万円

住宅改修費用補助

補助率1/2

最大100万円

町内に中古の物件を取得する場合又は、空き家バンクに登録された物件を賃借する場合は、その物件の改修にかかる費用の一部を補助します。

移住支援金

世帯100万円

単身60万円

子育て加算100万円

東京23区（在住者又は通勤者）から鹿児島県内へ移住し、移住支援金の就業要件を満たす就業をした方、又は、かごしま地域課題解決型起業支援事業の交付決定を受けた方に、移住先の市町村から移住支援金を給付します。

移住費用支援補助

補助率1/2

最大20万円

移住する際の荷物運搬料及び自動車航送運賃の一部を補助します。

お問い合わせ

移住・補助金に関して

屋久島町 観光まちづくり課 地域振興係
〒891-4292
熊毛郡屋久島町小瀬田849番地20
TEL 0997-43-5900 / FAX 0997-43-5905
✉ ijuu@town.yakushima.kagoshima.jp

屋久島町産業振興課／農業委員会
TEL 0997-43-5900
鹿児島県商工労働水産部
産業人材確保移住促進課
TEL 099-286-2990
✉ syo-jin@pref.kagoshima.lg.jp

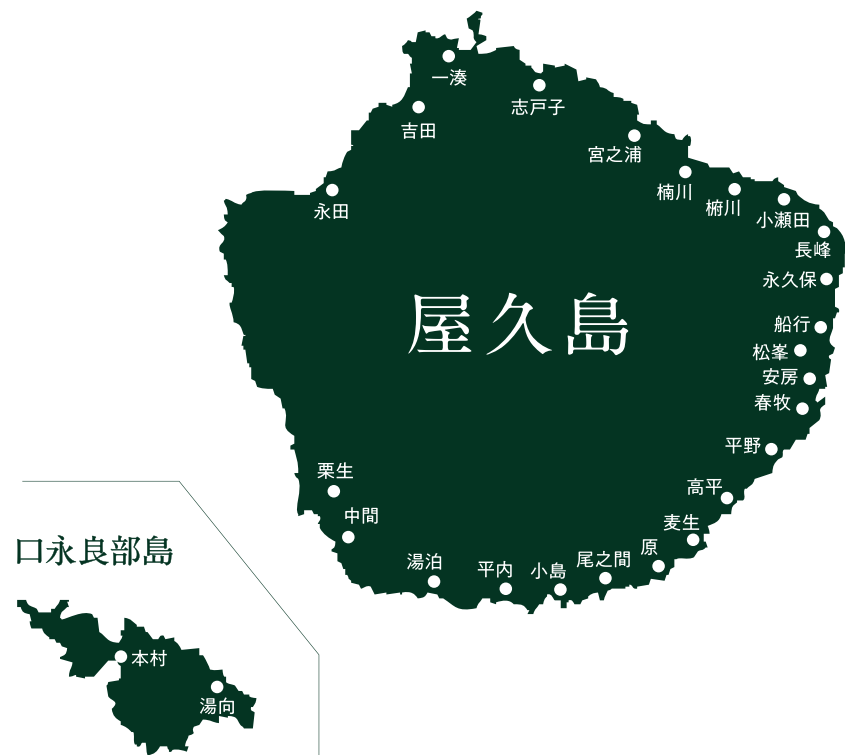
仕事に関して

ハローワークくまげ
西之表市西之表16314-6
TEL 0997-22-1318
FAX 0997-23-4852
<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



—〔 屋久島町の集落 〕—

屋久島町には、「集落」という暮らしの単位が古くからあり、道路が整備されていなかった頃は、各集落が暮らしの基本的な単位であり、隣の集落へ船に乗らないといけない場所などもありました。道路が整備された現在も、それぞれの集落独自の文化が残っており、行事なども集落単位で行われています。また集落によって行事や地域交流の密度も違いますし、気候も北部と南部ではかなり異なります。



自分に合った集落を探すためには、まず屋久島町に来て、役場で話を聞いたり、集落の区長さんに相談されることをお勧めします。本誌では、各集落のことを知っていただくきっかけとして、各集落の特徴をまとめましたので興味のある集落を調べるきっかけにしてください。

※各集落の人口及び世帯数は令和7年1月末現在



永田／ながた

345人／215世帯

九州で2番目の高さを誇る永田岳や、アカウミガメ産卵日本一の「いなか浜」から眺める夕日、横河溪谷など美しい風景を求めて島内外から多くの人々が訪れる集落です。

永田幼児学級・永田小学校所在地・中央中学校区・永田郵便局



吉田／よしだ

122人／73世帯

NHKの朝の連続ドラマ「まんてん」のロケ地。「トンボレ」と呼ばれる、自然形の岩壺に熱した石を投入して湯を沸かす瀬風呂や、東シナ海に沈む夕日が魅力の集落です。

一湊小学校区・中央中学校区・上屋久吉田簡易郵便局



一湊／いっそう

508人／313世帯

屋久島を代表する海産物である「首折れサバ」や「サバ節」の生産が盛んに行われる漁業の町。海水浴場や釣り、ダイビングスポットなどのマリナーも魅力の集落です。

一湊小学校所在地・中央中学校区・一湊郵便局



志戸子／しとこ

272人／164世帯

おおらかで元気な人が多く、住民がいきいきと生活できる集落であるよう活性化を目指しています。海岸線には樹齢500年以上といわれる巨大なガジュマルがある集落です。

一湊小学校区・中央中学校区・志戸子簡易郵便局



宮之浦／みやのうら

2,669人／1,441世帯

屋久島の海の玄関口であり、役場出張所や病院、保育園・小・中・高校等、教育環境も整っていることから人口も多く、大型スーパーや飲食店も多数ある島最大の集落です。

保育園・認定こども園・宮浦小学校・中央中学校・屋久島高校所在地・上屋久郵便局・銀行・農協



楠川／くすがわ

384人／217世帯

菅原道真を祀る「楠川天満宮」や、安産の神様を祀る「熊野神社」、町文化財指定の「楠川城跡」など、歴史的スポットが点在する集落です。

宮浦小学校区・中央中学校区・楠川簡易郵便局



楠川／たぶがわ

102人／60世帯

屋久島一小さい集落ですが、小さい集落だけに結束力があり、高齢者がとても元気に生活しているのが特徴。美しい海岸や「瀬の川」など、自然の美しさがあふれています。

宮浦小学校区・中央中学校区



小瀬田／こせだ

400人／219世帯

屋久島空港に近く、宮之浦港・安房港ともに車で15分圏内という立地にあり交通・生活とも利便性がよい集落です。

小瀬田小学校所在地・中央中学校区・小瀬田郵便局



長峰／ながみね

399人／220世帯

空の玄関口「屋久島空港」があり、役場本庁舎や診療所、大手ドラッグストア、ホームセンターなど、商業施設が立ち並んでいる集落です。

小瀬田小学校区・中央中学校区



永久保／ながくぼ

123人／71世帯

空・海の便どちらも利用しやすい位置にあり、町指定天然記念物枕状溶岩を見られる田代海岸があるほか、お茶栽培が盛んで、大事に育てられたお茶畑も見どころの集落です。

安房小学校区・安房中学校区・永久保簡易郵便局



船行／ふなゆき

208人／120世帯

屋久島の北海道と呼ばれる島の中でも比較的寒い場所です。お産の神様が祀られている船行神社には、町指定文化財である樹齢約700年の「船行大杉」が鎮座する集落です。

安房小学校区・安房中学校区



松峯／まつみね

512人／271世帯

鹿児島県合同庁舎やさまざまな商業施設が立ち並び、近年新興住宅地としても発展しており、島外からの移住者も多い集落です。

安房小学校区・安房中学校区



尾之間／おのあいだ

678人／400世帯

年間を通して温暖な気候で、宿泊施設やスーパー、診療所、役場出張所など生活環境も整っています。集落民になると「尾之間温泉」を無料で利用出来ることも魅力の集落です。

認定こども園所在地・神山小学校区・岳南中学校区・尾之間郵便局・農協



小島／こしま

188人／103世帯

温暖な気候に恵まれていることから、山芋やさつま芋、稲作にほんかん、たんかんなどを栽培する農業が非常に盛んな集落です。

八幡小学校区・岳南中学校所在地



平内／ひらうち

654人／370世帯

屋久島の特産品であるほんかん発祥の地。比較的移住者も多く、また、全国的にも珍しい干潮時にだけ入浴できる「平内海中温泉」がある集落です。

八幡幼稚園・八幡小学校所在地・岳南中学校区



安房／あんぼう

893人／517世帯

高速船発着港の一つ、安房港を有することから、屋久島観光の拠点となる飲食店や商業・宿泊施設が多く存在する、島内で2番目に大きい集落です。

認定こども園所在地・安房小学校所在地・安房中学校区・安房郵便局・ATM



春牧／はるまき

864人／480世帯

主要な登山道の入り口に位置し、春田浜や屋久杉自然館など観光施設も多く、飲食店や宿泊施設、焼酎蔵、屋久杉工芸店が立ち並ぶ集落です。

認定こども園所在地・安房小学校区・安房中学校所在地・春牧簡易郵便局



平野／ひらの

275人／160世帯

港へのアクセスも良く、必要以上に干渉しない区の方針もあり、住みやすさ・溶け込みやすさで移住者が多く住む集落です。

安房小学校区・安房中学校区



湯泊／ゆどまり

186人／110世帯

区民同士の結びつきが強く、「茶にせん会（高齢者サロン）」、民芸保存会などのグループで地域活性化に取り組んでいます。波打ち際に湧き出る「湯泊温泉」も魅力の集落です。

八幡小学校区・岳南中学校区・湯泊郵便局



中間／なかも

201人／123世帯

秀峰七五岳から流れる中間川河口に広がる集落で、樹齢300年を超える巨大なガジュマルのトンネルや砂浜の海岸があり、近年はサーフスポットとしても多くの方が訪れています。

栗生小学校区・岳南中学校区



栗生／くりお

378人／232世帯

海、川、山とまんべんなく自然を満喫することができ、役場出張所、診療所、保育園、小学校などの公共施設、商店や飲食店もある住みやすい環境の集落です。

栗生小学校所在地・岳南中学校区・栗生郵便局



高平／たかひら

157人／77世帯

元々区民の8割～9割が農家で、今も集落の中心産業は農業です。山側を通る農道が生活道路となっているのも特徴の集落です。

神山小学校区・岳南中学校区



麦生／むぎお

285人／170世帯

区民同士のつながりが深く集落行事にはほとんどの住民が参加し、協調と温もりのある集落で、ほんかん・たんかんの主産地です。

神山小学校区・岳南中学校区・麦生簡易郵便局



原／はら

417人／228世帯

東洋のmatterホルンと呼ばれるモツチョム岳がそびえ、千尋の滝をはじめ、春には桜が咲き誇る山河公園など見所満載。果樹やじゃがいもの栽培も盛んな集落です。

神山小学校所在地・岳南中学校区



口永良部島



本村／ほんむら

84人／57世帯

口永良部島の玄関口。島内には泉質の異なる天然温泉が湧いており、特別天然記念物「エラブオオコウモリ」や「オキチモスク」など珍しい動植物を見ることができる集落です。

金岳小学校・金岳中学校所在地・口永良部簡易郵便局



湯向／ゆむぎ

8人／7世帯

本村集落から車で約40分、更なる秘境にひっそりと佇む集落。湯の花舞う湯向温泉はそこに暮らす人々の宝物。スローライフを存分に満喫できる集落です。

金岳小学校区・金岳中学校区

屋久島町に住む

どんなお家があるの？

屋久島町では、移住・定住希望者へ向けた住宅／土地として、

空き家バンクや団地分譲を行っているほか、町営住宅を利用できる場合もあります。

屋久島町内物件は全国の不動産情報サイトには掲載されていない物件がほとんどです。

屋久島町で管理する住宅・土地を探す



屋久島
空き家
バンク

屋久島町の空き家情報を掲載しています



春田定住団地
分譲情報

屋久島町安房春田地区に住宅用地を造成し、購入者を募集しています

問い合わせ

屋久島町政策推進課
財産管理係
TEL: 0997-43-5900



町営住宅

町営住宅の入居に際しては、入居基準（所得基準、世帯状況、町税等の滞納がないなど）に適合し、かつ、住宅に困窮している方が対象です。

問い合わせ

屋久島町建設課 管理係
TEL: 0997-43-5900

不動産会社で探す



屋久島パイン株式会社

〒891-4403
鹿児島県熊毛郡屋久島町原 920 番地 6
TEL: 0120-55-8940



屋久島不動産

〒891-4311
鹿児島県熊毛郡屋久島町安房 2400 番地 517
TEL: 0997-46-3914



不動産開発屋久島

〒891-4205
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 186 番地 2
TEL: 0997-42-2887



屋久島企画

〒891-4311
鹿児島県熊毛郡屋久島町安房 500 番地 46
TEL: 0997-46-3933



屋久島ハウス

〒891-4205
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 1641 番地 9
TEL: 0997-42-1069

屋久島町で働く

どんなお仕事があるの？

屋久島にしかない自然を生かした山や森・海での仕事はもちろん、

観光・宿泊・飲食業や、自分のスキルや資格を活かせる仕事もたくさんあります。

仕事を通じて収入を得るだけでなく、島の人との出会いは島での生活を豊かにします。



観光

旅行業

宿泊・ガイド・レンタカーなど

観光業は他業種に比べると移住者がつきやすい仕事。特に夏場は人手不足にもなり、宿泊施設やレンタカー店は忙しい季節です。



農業

農家

お茶・馬鈴薯・果樹園など

屋久島は、ほとんどが山林なので農業が盛んです。特に、たんかんや、ぼんかんを始めとする果樹園は世代交代の時期に入っています。



林業

林業

製材所・木材加工など

現在、屋久島では過去に植林された木が切り時を迎え、林業人材募集が増えています。経験ゼロでも、技術を習得される方も多いです。



漁業

水産関係

漁師・水産加工業など

屋久島の海には大潮の恵豊かな漁場があります。漁獲量日本一のトビウオの他、様々な魚種を獲り、加工販売する仕事があります。



飲食

飲食業

居酒屋・レストラン・カフェなど

小さな島ですが、食がとても充実しています。観光シーズンは人手が足りず、島の食材を使った新商品はとても伸びしろがあります。



専門

専門職

看護師・薬剤師・介護職など

離島だからこそ、資格は大きな力を持ち、看護師や介護士は慢性的に人手不足で、とても重宝される職種です。



ポイント

離島ということもあり大きな収入は得られませんが、普通に生活するには問題のない収入を得られます。屋久島には、1つの仕事だけをしている人よりも、メインの仕事以外にも仕事を見つけ収入を得ている人が多いです。島ならではの季節にあった仕事もたくさん。色々な仕事を通じて、知り合いを増やすのもポイントです。

求人情報くまげ

フルタイムからパートまで様々な業種・職種が掲載。専門職も多数掲載。仕事探しに打って付けの情報誌です。



屋久島町の子育てと教育

屋久島町では地域で子どもを育てるという観点で、安心して子どもを産み、元よく子供たちが遊べる環境を作り出していきます。子育て支援策をますます強化中です。

すこやかベビー出産祝金

1年以上町内に居住し出産された方（母）。居住期間が1年未満の場合は、1年経過後に申請していただき支給します。
第2子まで1人につき100,000円
第3子以降1人につき200,000円

児童手当

高校修了前までの間にある児童を養育している方
3歳未満 第1、2子：月額15,000円
第3子以降：月額30,000円
3歳以上 高校修了前 第1、2子：月額10,000円
第3子以降：月額30,000円

児童扶養手当

父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない児童を養育する家庭（ひとり親家庭等）に支給します。手当は児童が18歳に達する日以降の最初の3月31日まで受け取ることができます。※所得による制限があります。

児童1人の場合
全額支給：46,690円
一部支給：46,680円～11,010円
2人目以降
全額支給：11,030円加算
一部支給：11,020円～5,520円

子ども医療費給付事業

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童に対する保険適用分にかかる医療費の自己負担分を現物給付します。※受給資格申請が必要です。

ひとり親家庭等医療費助成事業

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童（障害がある場合は20歳未満）を扶養するひとり親家庭の親及び児童並びに父母のいない児童の保険診療に係る自己負担分を助成します。
※所得による制限があります。

母子父子寡婦福祉資金貸付

配偶者のない方、父母のいない児童、寡婦及び40歳以上の配偶者のいない女子を対象に、事業開始や修業、修学、医療介護、住宅など目的に応じた資金を貸し付けします。

ひとり親への自立支援

ひとり親を対象に、高等職業訓練促進給付金（就職に有利となる専門資格の取得のため、養成機関に修業する際の生活費の支給）や自立支援教育訓練給付金（厚生労働大臣が指定する教育訓練を受講する際の受講料）の支給を行います。

問い合わせ

屋久島町福祉支援課 子育て支援係 TEL：0997-43-5900



屋久島町の幼稚園・保育園

屋久島町には保育園が1か所、認定こども園が4か所、地域型保育事業所が1つ、町立幼稚園が1か所、幼児学級が2か所あります。

所在地

- 保育園：宮之浦集落
- 認定こども園：宮之浦集落・安房集落・春牧集落・尾之間集落
- 地域型保育事業所：宮之浦集落
- 町立幼稚園：平内集落
- 幼児学級：永田集落・本村集落（対象幼児がいれば開所）



屋久島町の小・中学校

屋久島町には小学校が9校、中学校が4校あります。また、小学生を対象とする放課後児童クラブが5か所、学童クラブが1か所あります。

所在地

- 小学校：永田集落・一湊集落・宮之浦集落・小瀬田集落・安房集落・原集落・平内集落・栗生集落・本村集落
- 中学校：宮之浦集落・春牧集落・小島集落・本村集落
- 放課後児童クラブ：宮之浦集落・楠川集落・小瀬田集落・安房集落・原集落
- 学童クラブ：一湊集落



鹿児島県立屋久島高等学校

島内で唯一、全日制高等学校で普通科と情報ビジネス科の2学科があり、時代の流れや生徒の実態に応じた学校経営を行っています。

所在地

宮之浦集落



屋久島町山海留学制度

屋久島町では町外に暮らす子供たちを受け入れる留学制度があります。各小中学校にそれぞれの留学制度があり、子供同士の交流を促進しています。

山海留学実施校

永田小学校・一湊小学校・八幡小学校・栗生小学校・金岳小学校・金岳中学校

問い合わせ

永田小学校・一湊小学校・八幡小学校・栗生小学校
屋久島町山海留学連絡協議会事務局（屋久島町教育委員会内）
TEL：0997-43-5900

金岳小学校・中学校 ※中学校は金岳中学校のみ実施
口永良部島教育振興推進協議会（口永良部島出張所内）
TEL：0997-49-2100

屋久島町の医療

屋久島は、離島の中でも医療が充実した島です。

24時間救急を受け入れてくれる病院もあり安心の医療が受けられます。

重篤な救急の疾患には鹿児島県からドクターヘリでの搬送も可能です。



医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院

〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 2467 番地
電話番号：0997-42-2200（代表）
ホームページ：https://www.yakushimatokushukai.com

診療科目

外科・内科・産婦人科・小児科・形成外科・
歯科口腔外科・耳鼻咽喉科・整形外科・
脳神経外科・リハビリテーション科・眼科・
泌尿器科・精神科・循環器科・放射能科・麻酔科

地域医療

- 屋久島永田へき地出張診療所 ○訪問看護ステーション雲雀
- 小瀬田みんなの診療所 ○一湊出張診療所
- 小脇歯科医院 ○和田医院
- 屋久島町栗生出張診療所 ○仲医院
- やくしま森の診療所 ○屋久島尾之間診療所
- あらき歯科医院 ○口永良部島へき地出張診療所



ドクターヘリ

鹿児島県はドクターヘリの導入により、
島での救急医療が格段に広がりました。

老人ホーム

グループホームこもれびの杜

特別養護老人ホーム竜天園

特別養護老人ホーム縄文の郷

グループホーム鶴と亀

岡村ひまわりのお家

グループホームやくしま

デイサービス

ミニ・デイサービスほほ笑み

ミニ・デイ野の花

屋久島町社協通所介護事業所こまどり館

屋久島町社協デイサービスセンター縄文の苑

じゃがいものおうち

デイサービス屋久の杜

デイサービス安房の丘

屋久島町のライフライン

大自然のイメージが強い屋久島ですが、

電気・水道・ガスなど生活に欠かせないライフラインは全く不便はありません。

インターネットの光回線も島内全域利用可能です。

インターネット



屋久島の通信環境は光回線
を使った高速通信サービス
を導入しており島内をほぼ網
羅。快適なネット環境があり
ます。

電気



屋久島の電力はほぼ「水力
発電」。降水量が多い特徴を
活かした屋久島ならではのク
リーンエネルギーが各家庭
に供給されています。

ガス



どこでも設置しやすく台風
などにも強いプロパンガス
が主流です。近くに民家が
ないところでも簡単に設置
可能です。

水道



屋久島は蛇口をひねれば、
本当に美味しいお水がいた
だけます。充実の生活は屋
久島の「水」が根底を支え
てくれます。

スーパー



24時間営業の店舗はあり
ませんが、大型店舗から個
人経営の店舗など、ほとん
どの集落にスーパーや商店
はあります。

ドラッグストア



長峰集落に集中していま
すが、大手ドラッグストアが
3店舗あります。

屋久島移住の注意点

田舎生活にはちょっとした注意点も必要！

都会のように交通やインフラが整った環境ではないため意識したいポイントもあります。

いくつかあげてみましょう。共通する対策は、自然と仲良しになることです。



車は必需品！

バスやタクシーもありますが、屋久島の移動手段はマイカーです。大人一人に一台が基本です。家族はワンボックス、近場の移動に、ミニバンや軽自動車が一般的です。意外と活躍するのは、軽トラ。農作業やちょっとした野外活動に大活躍します。



娯楽施設はほぼ無し

屋久島には娯楽施設がほぼありません！映画館や遊園地はもちろん気軽に行って遊べる施設がありません。子供たちを遊ばせるのはアウトドア！都会にある娯楽施設はありませんが、海・川・山と都会にない遊び場は全て揃っていると行って過言ではありません。



台風や梅雨

台風などの影響で海上のシケが続くと、鹿児島からの物流が停止することから、スーパーの食料品がなくなることがあります。天気を見て備えが必要。また梅雨の季節は雷が多く、停電もしょっちゅうです。病院やお店は自家発電できる機材を揃えているところもあります。島に住んでいると慣れてくるのですが、最初は戸惑うかもしれません。



虫・カビ・雑草

島の生活は自然の中で生活をするようなイメージに近いので、生活圏でも虫は多いです。対策をすれば問題はないのですが、虫嫌いの方は慣れるしかありません。梅雨時期は湿度が高く、家の中にもカビが発生しやすくなります。できるだけカビにくい家財道具を選んだり、こまめに拭き掃除をしたりと工夫が必要。また家の周りの雑草がすごい！夏は1ヶ月でポーポーに。一家に一台は刈り払い機があれば便利です。

移住の心得

1 憧れや漠然とした気持ちでは長続きしません

- 移住のメリット・デメリットの捉え方は人それぞれですが、デメリットについてもしっかり考えましょう。
- 豊かな自然のある島で暮らしたいという憧れだけでは長続きしません。
- 町でどんな暮らしをしたいのか、将来の展望を持って準備・計画をすることが大事です。
- 町では、移住者に対して様々な支援を行いますが、支援が永久に続くものではありません。
- ある程度の貯蓄があることに越したことはありません。

2 家族の同意を得ること

移住は家族にとっての一大イベントであり、新たな人生のスタートです。これまで身近だった人との距離は遠くなりますし、家族の生活環境も大きく変化します。家族と十分に話し合いを持ち、移住への合意を図って下さい。

3 地域を理解すること

- 地域の生活文化を尊重し、地域に溶け込み、地域活動にも積極的に参加するなどの活動が重要です。
- 都会と違って地域のつながりを大事にするため、地域活動が多い環境となっています。事前にそれらの状況を理解することも大事です。
- 誰にも干渉されず静かに暮らしたいなら島はオススメできません。

移住・定住に関するご相談・お問い合わせ

観光まちづくり課 地域振興係

✉ ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp

子育て全般に関するご相談・お問い合わせ

福祉支援課 子育て支援係

✉ kaigo01@town.yakushima.kagoshima.jp

その他のご相談・お問い合わせ

屋久島町役場

〒891-4292 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 849 番地 20

TEL 0997-43-5900 / FAX 0997-43-5905 / ✉ info@town.yakushima.kagoshima.jp

屋久島町にお試し移住

屋久島町では、移住を希望する方を対象に、島での暮らしを体験していただける「暮らし体験住宅」を整備しています。大型家電を備え付けていますので、本格的に移住する前に屋久島での暮らしを体験できます。



使用料
月額 10,000円

※光熱水費等は、入居者の負担になります。

使用期間
3か月以上1年未満

入居条件

- ①屋久島町外にお住まいで本町へ移住を希望する方
- ②使用料等を滞りなく支払うことができる方
- ③屋久島町が行う施策に協力することができる方
- ④地域住民と円滑かつ積極的に交流をもてる方
- ⑤移住を希望する方又は同居の方が暴力団員でない方



体験住宅1号棟

屋久島町小瀬田469番地45
鉄筋平屋
71㎡(3K): 昭和51年度



体験住宅2号棟

屋久島町永田3030番地6
木造平屋
71㎡(3K): 昭和51年度



体験住宅3号棟

屋久島町船行40番地12
鉄筋平屋
60㎡(3K): 昭和58年度



体験住宅4号棟

屋久島町平内608番地9
木造平屋
110㎡(3DK): 平成8年度

設備品

テレビ、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器、コンロ、エアコン、お皿

※上記以外の家具、寝具、調理器具などは入居者にてご準備下さい。

募集方法

住宅の空き状況に応じて募集します。屋久島町公式ホームページを定期的にご確認ください。

手続きの流れ

- ①使用申込書と使用者全員の住民票等関係書類を提出
- ②審査通過後、使用許可通知書と宣誓書を送付
- ③通知書の通知日から10日以内に宣誓書を提出
- ④町役場にて鍵の貸し出しを行い、住宅までご案内

短期移住と多拠点生活

長期に滞在をしながら、島の暮らしを体験したり、仕事をしたり、島での情報収集ができる宿泊施設やゲストハウスがあります。屋久島の人々と交流しながら、移住のイメージを膨らませましょう。



屋久島サウスブレッジ

屋久島の南に位置する長期滞在型の民間のゲストハウスです。移住をされる前の検討滞在や、住宅を探す拠点として利用される方が多いです。滞在中には移住についての相談にも乗っていただけます。



〒891-4406 鹿児島県熊毛郡屋久島町平内258-24
0997-47-3751
yakushimasouth@gmail.com



四季の宿 尾の間

温泉の町 尾の間にある静かな民宿です。モッチョム岳を仰ぎ見る抜群のロケーションに、全部屋に専用のトイレとお風呂がついたのんびり滞在型民宿です。



〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾の間642-15
0997-47-3377
shikinoyado@gmail.com



旅人の宿 まんまる

コンセプトは「自然の中の第二の暮らし」屋久島暮らしに興味がある方、働きながら長期滞在したい方、人と関わることが好きな方、写真に興味がある方、が集まります。



〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久島町安房540-19
0997-49-7107
info@manmaru-yakushima.com

屋久島憲章

屋久島が世界自然遺産として登録された1993年12月に、屋久島にある上屋久町と屋久町の2つの町議会は、歴史的経緯をふまえ、住民総意のもと、屋久島の貴重な自然を生かした地域づくりとそれを保全することを目標とした「屋久島憲章」を制定しました。「屋久島憲章」は、2つの町が合併し屋久島町となった現在でも大事にされる屋久島の島民の哲学です。

前文

地球と人類の宝物である屋久島。この島は、周囲132km、面積503km²の日本で5番目に大きい島である。屋久杉を象徴とする森厳な大自然をたれ、流れに身を淨め大海の恵みに日々を委ねて人々が生きた島。この島は、はるかな昔から人々の魂を揺さぶりつづき、近世森林の保全と活用で人々が苦しみ葛藤した島である。そして今、物質文明の荒波をようように免れた屋久島は、その存在そのものが人間に対する啓示であり、地球的テーマそのものである。

この島に住む私たちは、この屋久島の価値と役割を正しくとらえ、自らの信念と生きざまによって、この島の自然と歴史に立脚した確かな歩を始める。そのため、この島の自然と環境を私たちの基本的資産として、この資産の価値を高めながら、うまく活用して生活の総合的な活動の範囲を拡大し、水準を引き上げていくことを原則としたい。

この原則は、行政機関はもちろん、屋久島に係わる全ての人々が守るべき原則でありたい。登録も、鹿児島県の環境文化村構想も、この原則を尊重し、理想へ向けて、その水準を高く100年の計を誤らず推進されることを願うものであり、これを契機として、次のことを目標とし、ここに屋久島憲章を定めます。

条文

01

わたくしたちは、島づくりの指標として、いつでもどこでもおいしい水が飲め、人々が感動を得られるような、水環境の保全と創造につとめ、そのことによって屋久島の価値を問いつづけます。

02

わたくしたちは、自然とのかかわりかたを身につけた子供たちが、夢と希望を抱き世界の子供たちにとって憧れであるような豊かな地域社会をつくります。

03

わたくしたちは、歴史と伝統を大切にし、自然資源と環境の恵みを活かし、その価値を損なうことのない、永続できる島づくりを進めます。

04

わたくしたちは、自然と人間が共生する豊かで個性的な情報を提供し、全世界の人々と交流を深めます。